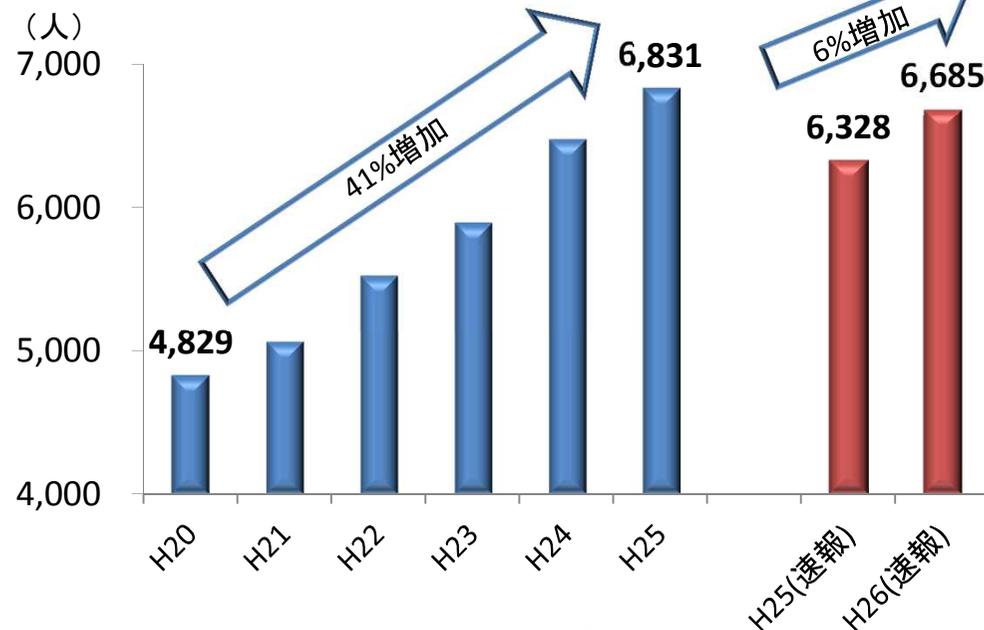


# 社会福祉施設における労働災害の発生状況

## 休業4日以上之死傷災害

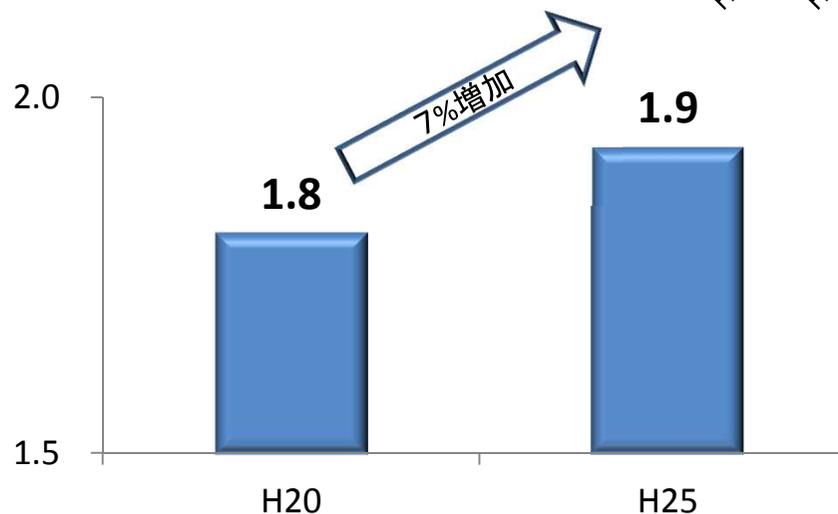
- 労働災害は年々急増。
- さらに平成26年(速報)も対前年比 **6%増**

労働災害発生の年推移



## 災害発生率

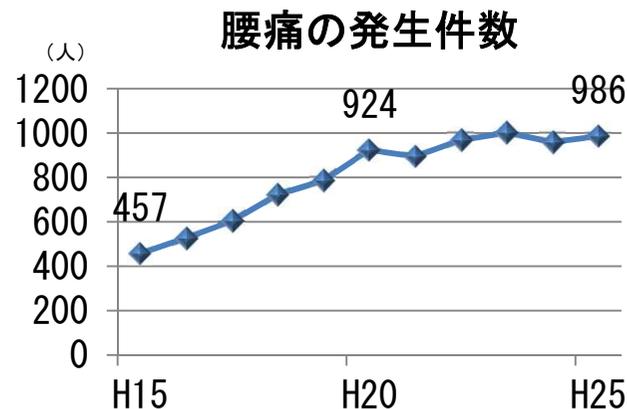
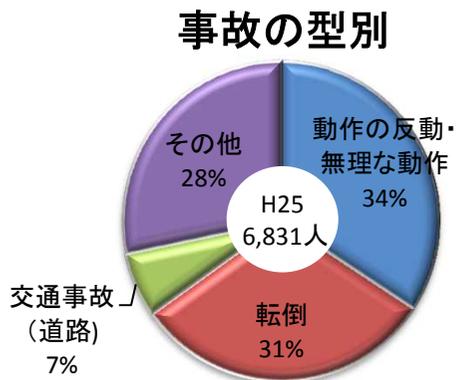
- 災害発生件数の増加要因として、雇用者数の増加が挙げられるが、災害発生率(1,000人当たりの発生件数)も6年前と比較して **6%増**。



# 社会福祉施設における労働災害の発生状況

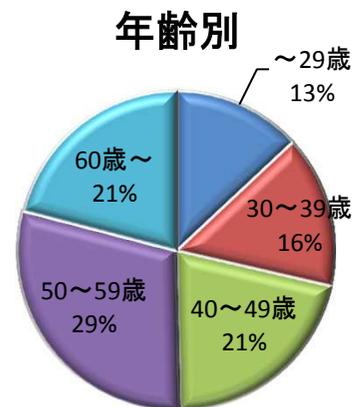
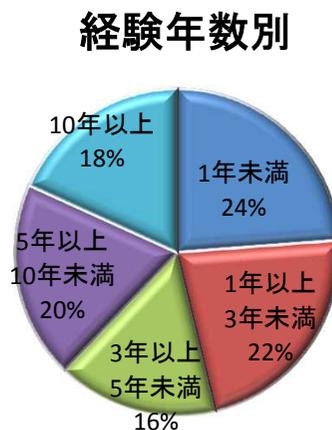
## 事故の型別死傷者数内訳

- 「動作の反動・無理な動作」が34%を占め、次いで「転倒」(31%)が多く、この二つで65%を占める。
- 腰痛発生件数は年々増加し、平成25年には986件となった。



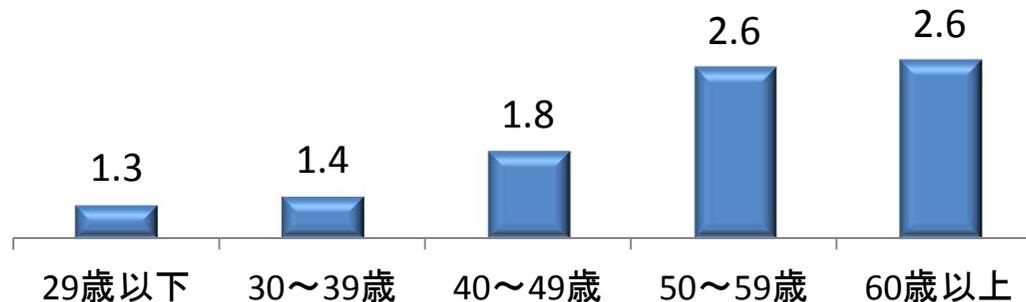
## 経験年数/年齢別数別死傷者数内訳

- 死傷者の46%が経験年数3年未満
- 死傷者数に占める50歳以上の割合が半数



## 年齢別災害発生率

- 年齢別の災害発生率(1000人当たりの発生件数)でも、50歳以上の割合が高い。



# 社会福祉施設における転倒災害

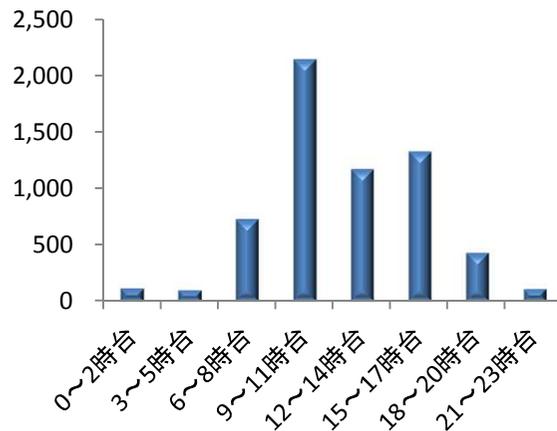
## ポイント

- 社会福祉施設の労働災害は増加傾向。平成26年(速報)は6,685件で前年に比べ6%増加。
- このうち、転倒災害は平成26年(速報)では2,094件で全体の31%を占め、前年同期に比べ7%増加。
- 社会福祉施設における転倒災害の特徴は
  - ・ 9～11時台に多く発生。
  - ・ 50歳以上の災害が約7割を占め、かつ年々増加傾向。
  - ・ 休業見込が1月以上が約6割。

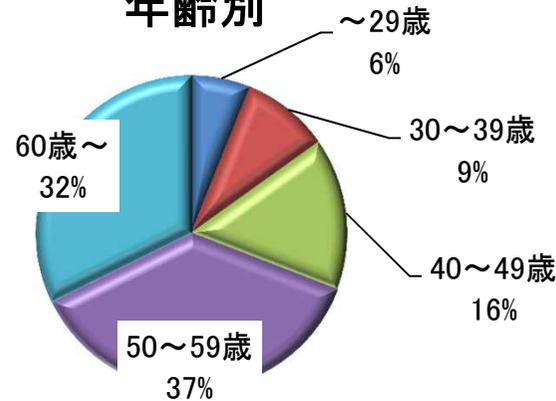
## 休業4日以上の災害及び転倒災害の占める割合の推移



## 時間帯別



## 年齢別



## 休業見込別

